別記第1号様式(第7条関係)

|  |
| --- |
| ばい煙発生施設設置(使用、変更)届出書年　　月　　日　　熊本市長　（宛） |
| 届出者 | 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 |
| 　熊本県生活環境の保全等に関する条例第9条第1項(第10条第1項、第11条第1項)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。 |
| 　 |  工場又は事業場の名称 | 　 | ※　整理番号 | 　 | 　 |
| 工場又は事業場の所在地 | 　 | ※　受理年月日 | 年　月　日 |
|  ばい煙発生施設の種類 | 　 | ※　施設番号 | 　 |
|  ばい煙発生施設の構造 | 別紙1のとおり | ※　審査結果 | 　 |
| ばい煙発生施設の使用の方法 | 別紙2のとおり | ※　備考 | 　 |
|  ばい煙の処理の方法 | 別紙3のとおり |
| 備考　1　ばい煙発生施設の種類の欄には、熊本県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第1に掲げる項番号及び施設名を記載してください。　　　2　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。　　　3　※印の欄には、記載しないでください。 |

別紙１

ばい煙発生施設の構造

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 名称及び型式 |  |  |
| 設置年月日 |  年 月 日 |  年 月 日 |
| 着手予定年月日 |  年 月 日 |  年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 |  年 月 日 |  年 月 日 |
| 規模 |  燃料の燃焼能力 （重油換算Ｌ/ｈ） |  |  |
|  原料の処理能力（ｔ/ｈ）  |  |  |
| 火格子面積又は羽口面断面積（㎡） |  |  |
|  火 床 面 積（㎡）  |  |  |
|  焼 却 能 力（ｋｇ/ｈ）  |  |  |
|  炉 内 容 積（）  |  |  |
|  変圧器の定格容量（ＫＶＡ）  |  |  |
|  溶 解 炉 の 容 量（ｔ）  |  |  |

備考 １　設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載してください。

 ２　規模の欄には、熊本県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第１の中欄に掲げる施設の当該右欄に規定する項目について記載してください。

３　ばい煙発生施設の構造概要図（主要寸法を記入したもの）を添付してください。

別紙２

ばい煙発生施設の使用の方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 使用状況 |  一日の使用時間及び 月使用日数等 |  時 ～ 時時間/回 回/日 日/月 |  時 ～ 時時間/回 回/日 日/月 |
|  季節変動 |  |  |
| 原材料（ばい煙の発生に影響のあるものに限る。） |  種類 |  |  |
|  使用割合  |  |  |
|  原材料中の成分割合（％） | 硫黄分 | 塩化水素分 | 塩素分 | 硫黄分 | 塩化水素分 | 塩素分 |
|  １日の使用量 |  |  |
| 燃料又は電力 |  種類 |  |  |
|  燃料中の成分割合（％） | 灰分 | 硫黄分 | 灰分 | 硫黄分 |
|  発熱量 |  |  |
|  通常の使用量（Ｌ/ｈ） |  |  |
|  混燃割合 |  |  |
|  排出ガス量（/ｈ） | 最大 通常  | 最大 通常  |
|  （℃） |  |  |
|  排出ガス中の酸素濃度（％）  |  |  |
| ばい煙の濃度 |  ば い じ ん（ｇ/） | 最大 通常  | 最大 通常  |
|  硫黄酸化物（容量比ｐｐｍ） | 最大 通常  | 最大 通常  |
|  塩素（ｍｇ/） | 最大 通常  | 最大 通常  |
|  塩化水素（ｍｇ/）  | 最大 通常  | 最大 通常  |
|  ダイオキシン類（ｎｇ-ＴＥＱ/Ｎ） | 最大 通常  | 最大 通常  |
| ばい煙量 | 硫黄酸化物 （/ｈ） | 最大 通常  | 最大 通常  |
| 参考事項 |  |

 備考 １ 原材料中の成分割合（％）の欄及び燃料中の成分割合（％）の欄の記載にあっては、重量比（％）又は容量比（％）の別を明らかにしてください。

 ２ 排出ガス量及びばい煙量については温度が０度であって圧力が１気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算した値を記載してください。

３　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度としてください。

 ４ ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度としてください。

 ５ ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に一工程中の排出量の変動の状況を記載してください。

 ６ ダイオキシン類の濃度は、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第３条に定める方法により換算した値を記載してください。

別紙３

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
|  処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| ばい煙処理施設の種類、名称及び型式 |  |  |
|  排出ガスの処理方法の内容  |  |  |
|  処理の系統（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類に限る。）  |  |  |
|  設置年月日  | 　　　年　　月　　日 | 　　　年　　月　　日 |
|  着手予定年月日  | 　　　年　　月　　日 | 　　　年　　月　　日 |
|  使月間始予定年月日  | 　　　年　　月　　日 | 　　　年　　月　　日 |
| 　　　処　　　　　理　　　　　能　　　　　力　　　 | 排 出 ガ ス 量　　　　（/ｈ） | 最大 |  |  |
| 通常 |  |  |
| 排 出 ガ ス 温 度（℃） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 　ばい煙の濃度　 | ばいじん （ｇ/） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 硫黄酸化物 （容量比ｐｐｍ） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 塩素（ｍｇ/） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 塩化水素 (ｍｇ/) | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
|  | 硫黄酸化物 （ /ｈ） | 最大 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 通常 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 補集効率 （％） | ば い じ ん（％） |  |  |
| 硫黄酸化物 （％） |  |  |
| 塩 素 （％） |  |  |
| 塩 化 水 素（％） |  |  |
| 使 用状 況 |  １日の使用時間及び月使用 日数等 | 時 ～ 時時間／回 回／日 日／月 | 時 ～ 時時間／回 回／日 日／月 |
|  季 節 変 動  |  |  |
|  排出口の実高さ（Ｈｏ）及び頂口径（ｍ） |  |  |
|  補正された排出口の高さＨｅ（ｍ） |  |  |
|  排 出 速 度 （ｍ/ｓ） |  |  |
| 傘　　　の　　　有　　　無 |  |  |

 備考 １ 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載してください。

　　　　２　排出ガス量及びばい煙量については温度が０度であって圧力が１気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算した値を記載してください。

 ２ ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度に換算して記載してください。

 ３ 補正された排出口の高さＨｅは、熊本県生活環境の保全等に関する条例施行規則第４条第２項の算式により算定してください。

 ４ **ばい煙処理施設の構造図及び概要図（主要寸法を記入したもの）を添付してください。**

 ５ ダイオキシン類の処理の系統を示す流れ図（概要）を添付してください。